

令和4年度第2回「栃木県職業能力開発促進協議会」議事録

開会【訓練室長補佐】

1. 栃木労働局挨拶 【労働局職業安定部長】

資料確認 読み上げにて確認【訓練室長補佐】

委員紹介（欠席及び代理出席の方の紹介）【訓練室長補佐】

2. 議題

会長選出及び会長挨拶 宇都宮大学熊谷委員

(1) 公的職業訓練の令和4年度の実施状況及び令和5年度の計画について

【訓練室地方人材育成対策担当官】

資料1により説明

【栃木県労働政策課産業人材育成担当主任】

資料2により説明

【ポリテクセンター栃木訓練課長・求職者支援課長】

資料3により説明

《意見・質疑》

【石塚委員】

1. 資料1の2ページ目④実践コースの応募状況等の④その他の応募者数が234人に対して受講者数が97人と乖離しているが、どういうことか。また、その他の中身も併せてどう分析しているか。
2. 資料2の1ページ目下段のR4入校生の進級率について、入校生数120名に対して進級見込者数109名となっているが、進級できない理由について。
3. 資料3の13ページ開校欄のデジタル(IT)分野で応募率が115.9%とあるのに対し、定員充足率が63.6%と低過ぎるか。デジタル(Webデザイン)も応募率が254.1%に対し、定員充足率が91.8%。91.8%は高い方だとは思いますが、今デジタルの推進ということで注目しているので、そのあたりの乖離の理由について。

【訓練室地方人材育成対策担当官】

1について

④その他はITとWebデザインが含まれてる。

令和4年度の乖離状況ですが、定員が15名のところ応募が大幅に上回り、多いときには3倍近くなり、どうしても訓練校の受け皿的に合格がだせなかったという現状となっている。

【栃木県労働政策課産業人材育成担当主任】

2について

進級できない理由については2通りの方がいる。

1つ目は、入校後訓練を進める中で、最初は当然受けたくて訓練を始めたが、いろいろ思うところがあり、進路を変えてしまう、違う分野に進みたいと判断し、やめてしまう方。

2つ目は、受講者の中に、障害があるとまではいかななくても、グレーゾーンの方も最近増えてきており、訓練についていけずにやめてしまう方。

【ポリテクセンター栃木求職者支援課長】

3について

ITも確かに応募率に対して定員充足率は低いが、就職等で辞退する方、選考した結果、修了を見込めない方も含めて定員充足率が下がっている。

Webデザインも応募者に対して定員が総数を超えられないというところで、辞退者、選考結果をふまえた数字になっている。

【相楽委員】

デジタル分野に関してITとデジタルを一括りで表現しているが、職種で見ると、社内SE等多岐にわたる職種があると思うが、どのあたりの職種を想定したデジタルのプログラムなのか伺いたい。

【ポリテクセンター栃木求職者支援課長】

一番は社内SE等で、プログラミングとかVBA等の使い手、社内のパソコンを使いこなす人たちとして就職していくところを含めている。

【栃木県労働政策課産業人材育成担当主任】

特定の職種を設定しているというより、基本情報技術者の資格やWebデザインの資格、Pythonを使えるようになる等の技能を身につけることによって、それを武器にして就職活動を進めていく。自分はこのスキルを持っていますというように、会社の中で自分をPRしていけるような人材を育成していくことを目標にしている。

【狩野委員】

資料2の3ページ施設内コース（県北校、県南校）の電気設備科の修了者がいずれも0となっているが、何か問題点等があったのか。

【栃木県労働政策課産業人材育成担当主任】

令和5年1月末時点で修了後3ヶ月を経過したコースを載せており、電気設備科は1年のコースになるので、まだ修了者がいないということで、0と記載してる。

(2) 令和5年度栃木県地域職業訓練実施計画の策定について

【訓練室地方人材育成対策担当官】

資料4-1、資料4-2、4-3により説明

《意見・質疑》なし

(3) 職業訓練効果の把握・検証について

【訓練室長】

資料5-1、資料5-2、資料5-3、資料5-4により説明

《意見・質疑》

【相楽委員】

今の案は賛成である。

人材評価業務を行っている中で、一番多い職種が営業・販売、三番四番に来るのが総務・経理の事務系の職種になるので、営業・販売・事務分野を取り上げるのは非常に効果が高いと思う。

(4) その他

【訓練室長】

「人材開発支援助成金（人への投資促進コース）」「事業展開等リスク支援コース」についてリーフレットにより説明

《意見・質疑》なし

解任挨拶【熊谷議長】

閉会 【訓練室長補佐】